



▲たくさんの人達に囲まれ餅をつく「只見餅つき隊」

会場の皆さん大喜び!

「只見餅つき隊」が東京 渋谷の道玄坂で餅つき!!

1月11日、渋谷道玄坂商店街振興組合・東京都主催の道玄坂チャリティ餅つき大会に、只見の農家を中心とした「只見餅つき隊」が参加しました。只見餅つき隊の参加は今年で2回目で、参加するようになったきっかけは、以前から宇都宮などで餅つきを行っており、東京でもやってみたくて考えていたところ、知り合いのスノーボード協会の方が道玄坂に店を持っていて、その方に道玄坂商店街の理事会ではかってもらい実現できたそうです。

当日は天候にも恵まれ、家族連れや外国人など多くの人達でにぎわい、臼と杵を使った餅つきに会場の皆さんは大喜びで、1,500食分(もち米150kg)が販売され、売り上げは福祉団体に寄付されチャリティーにも協力できました。

道玄坂商店街の皆さんも喜んでくださり、来年の参加もお願いされたそうです。今後、只見と同玄坂の関係が深まっていくことを期待したいですね!

梁取地区の伝統行事

こがい まんざい 蚕養万歳と早乙女踊り が行われました

1月9日、梁取地区で新年を祝う歌舞「蚕養万歳」五穀豊穰、御家内安全などを祈願する「早乙女踊り」が行われました。

この伝統行事には子供から大人まで参加し、梁取集会所施設でお披露目を行った後、集落内の家々を巡りました。巡る家は、区長宅や班長宅、それに厄年や新築・婚礼のあった家などとなり、今年は4軒を巡りました。

梁取の早乙女踊りは、町内の小林や小川の早乙女踊りと基本的には同じですが、蚕養万歳が対になって行われていることが特色です。



▲早乙女踊りに先立って行われる蚕養万歳

これまでの活動が認められ

明和青年団が 県から表彰されました

第38回福島県青少年健全育成推進大会で、明和青年団が福島県青少年育成県民会議会長表彰を受賞しました。

この表彰は、科学研究活動や芸術・文化活動、スポーツ活動、社会奉仕活動などで青少年の健全育成に成果をあげている団体が表彰されるもので、明和青年団はこれまで地域で行ってきた活動が認められ、今回の表彰となりました。



▲これからも頑張って活動を続けてください



▲先生の渡部 稔さんは簡単にほうきを編みますが、実際にやってみると非常に難しく、皆さん何度も稔さんから編み方を教えてもらいました
(朝日地区 ほうきづくり教室)



▲試行錯誤をしながら釉薬を付けましたが、なかなか思い通りにはならず難しそうでした
(明和地区 陶芸教室)

冬だからできること! 各振興センターで冬期講座

冬になり、各振興センターでは冬期講座が行われています。農作業などで忙しく普段はなかなかできない事も、冬だから作れる時間があり作品作りに取り組んでおられる方もいらっしゃると思います。

皆さんの作品は、3月に各振興センターで行われる只見地区冬期講座発表会、朝日のいいもの集めちゃった市、明和公民館まつりで展示されますので、多くの皆さんに足を運んでいただき作品を見て欲しいと思います。

只見町公認自然ガイド特別育成セミナー 「日本における里山管理の歴史」

1月30日、特別育成セミナーがブナセンターで開催され、湯本 貴和氏(京大霊長類研究所 教授)にご講演いただきました。湯本氏は、国内外で精力的に動物と植物の相互関係を研究されており、現在は日本列島の歴史の中で「人と自然との関わり」について紐解いておられます。今回はその成果についてお話していただきました。

日本列島は、世界的に見ても生物多様性の非常に高い地域の一つであり豊かな自然環境が残されていますが、昔はどのような利用がされてきたのでしょうか。

花粉分析や古文書の記録など様々な資料を集め付き合わせていくと、平安京などの大都市を作る際に山の過剰な利用があり、いたるところが禿山になっていた意外な事実がわかっています。その一方で、水源地である山林を大切に守ってきたことや、森を切り尽くさず持続的に利用する術を伝えている地区もあり、先進国で“古くから繰り返し人の利用があるのに生物多様性が高い”ことは希少なことだとお話がありました。

町内外より約30名が参加され、山や里の利用の歴史を振り返ることで今後の利用方法を考える機会となりました。



▲自然と共存する只見町にとって非常に大切なお話をいただきました